



地層処分研究開発・評価委員会

資料4-8 (H19. 11. 27)

# セーフティケースに関わる 背景情報のマネジメント

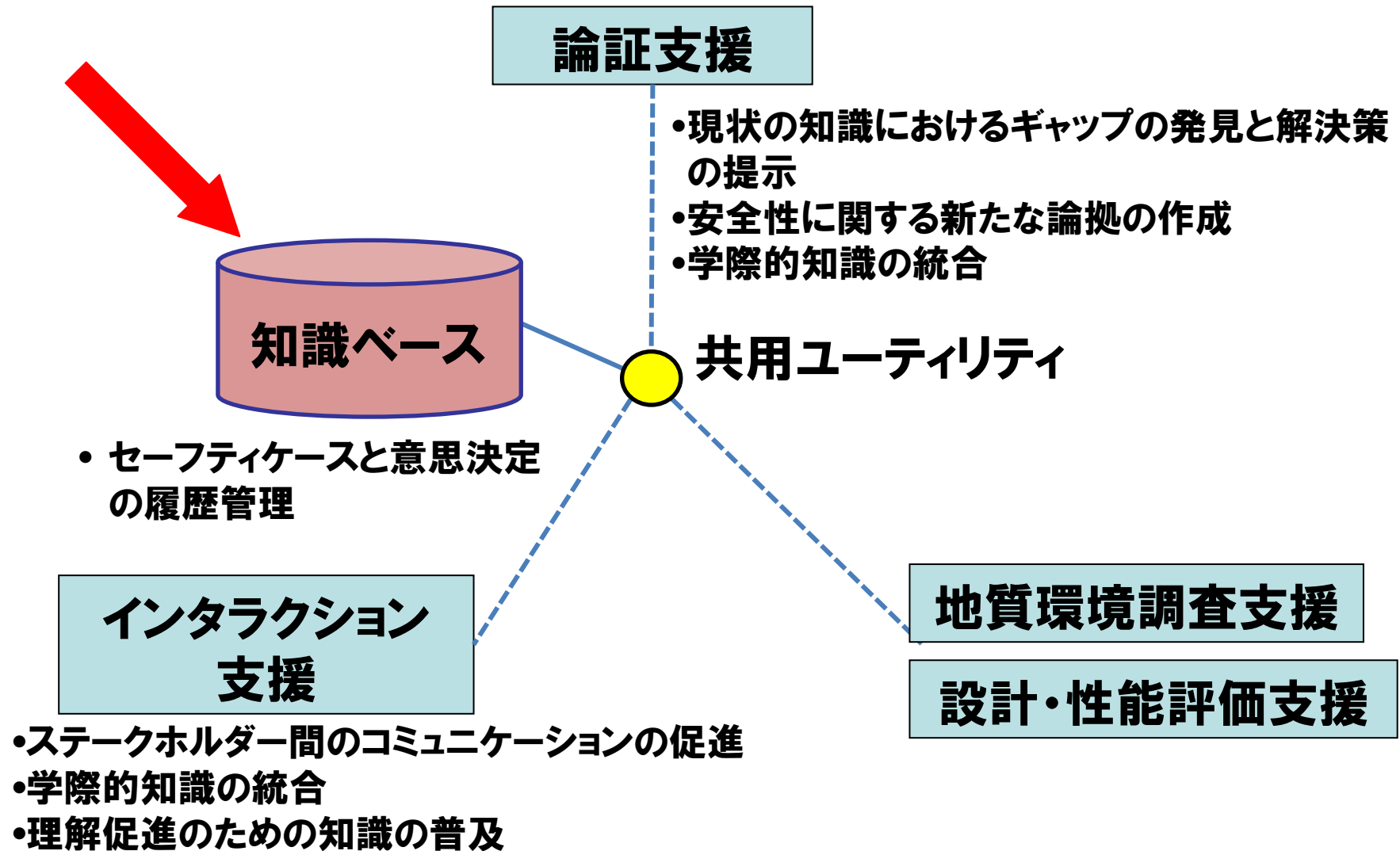
平成19年11月27日

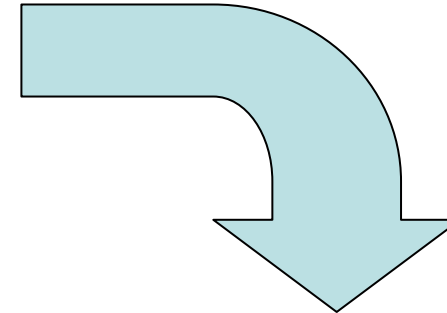
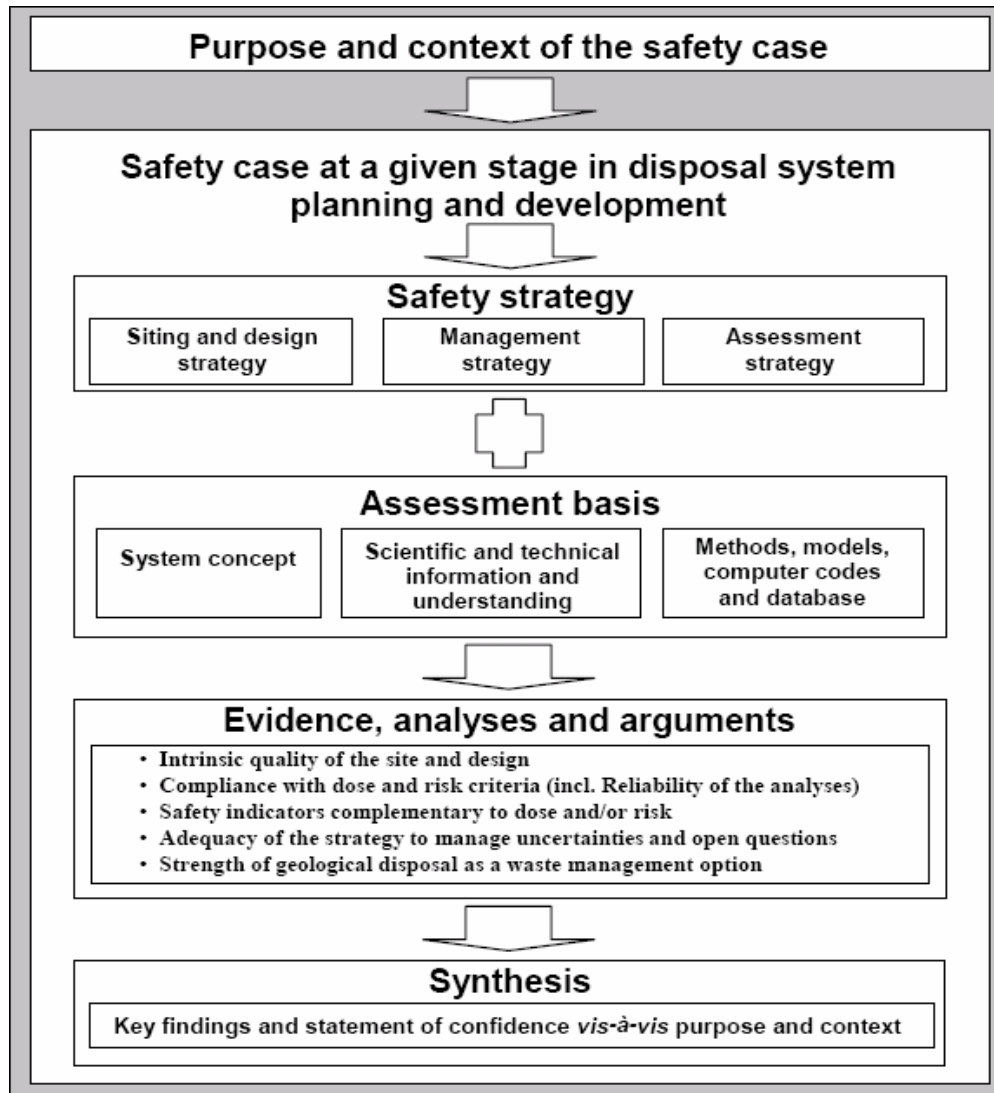
独立行政法人日本原子力研究開発機構

地層処分研究開発部門

知識化グループ

日置 一雅





SCを作る上で  
考慮すべき情報:

- 主要な概念の形成過程
- わが国の地層処分の歴史

など



## 主要な概念の形成過程

- 主要な概念、考え方、原則 の形成過程
  - Stepwise Approach 段階的アプローチ
  - Reversibility & Retrievability 可逆性と回収可能性
  - Safety Assessment & Safety Case
  - Human Intrusion 人間侵入
  - Institutional Control 制度的管理
  - Monitoring モニタリング
  - など



## 主要な概念の形成過程

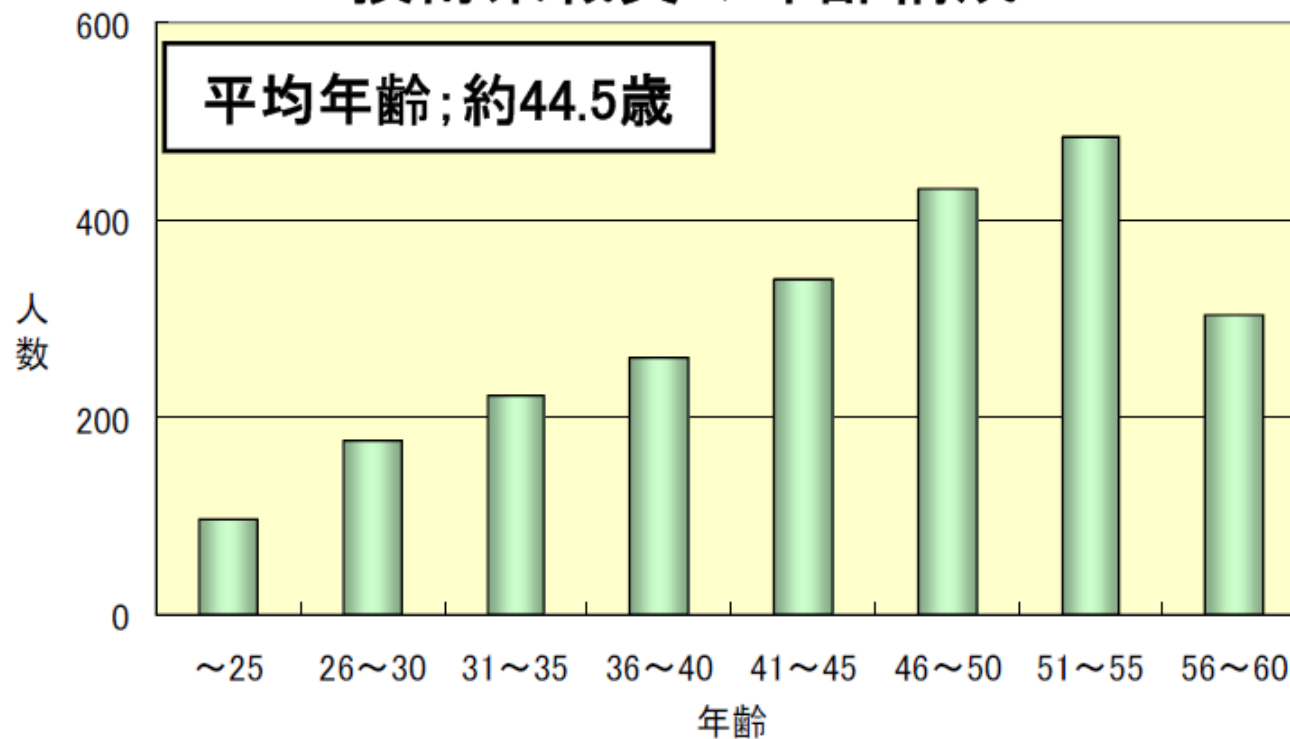
- 現在の結論（少なくとも専門家間のコンセンサス）はわかって、その形成経緯がわからない。
- 一連の国際会議等の proceedings
  - IAEA
  - OECD/NEA
  - ICRP
- フォーラムや研究成果報告会における質疑応答を時系列に整理



# わが国の地層処分の歴史

## 2007年問題 — 団塊の世代の定年退職

### 技術系職員の年齢構成





## わが国の地層処分の歴史

### 方法:

- 経験者(賢者)にインタビュー
- 賢者2人の自由対談も効果的

### 参考:

- Pigford博士の回顧録(387ページ!)
- BE部会20周年記念特集
- 第2次取りまとめ 背景レポート



## わが国の地層処分の歴史

課題:

- 有能なinterviewerでなければ、賢者から知識を引き出せない。
- インタビュー結果のまとめかた

スケジュール:

- 平成20年度～平成21年度